



自強不息 質実剛健 文武両道

URL : <https://www.koyo-h.wakayama-c.ed.jp/index.html>

頑張れ、向陽生！ ～ 全国大会・硬式野球部県大会壮行式 ～

1学期期末考査が終わった7月2日、体育館において北部九州4県で開催されるインターハイ、岐阜県で行われる全国高等学校総合文化祭、東京都で行われる全国大会に出場する選手と生徒、及び7月10日から紀三井寺公園野球場で開催される全国高等学校野球選手権和歌山大会に出場する硬式野球部の選手たちを激励するための壮行式が行われました。各部のキャプテン・部長が大会に向けての決意を表明した後、校長先生から「全国という大きな舞台に立てるといふ喜びを噛みしめながら、これまで培ってきた力を精一杯発揮してきてほしい」と激励の言葉を述べられ、最後に「頑張れ、向陽生！」とエールを送ってくださいました。また、中学校生徒会の田中達貴さんから「全国という舞台は緊張するかもしれませんが、今まで練習してきた成果を十分発揮できるよう、そして悔いのないようにできるように頑張ってください。健闘をお祈りしています。」と、また、高校生徒会の林瞬志さんから「この大会は夢への第一歩、或いは、最終章です。精一杯楽しんできてください。応援しています。」と激励の言葉を送ってくださいました。全国の舞台に立つ生徒の皆さんの活躍を期待しています。



(全国大会出場クラブ・選手は先月号で紹介)

探究型授業・教科等横断型授業 ～ 向陽はモデル校 ～

7月11日(木)の午後、滋賀県の比叡山高校・学習力向上委員の先生方が本校の授業の視察に来られ、また、その様子を県教育委員会の方々も見に来られました。昨年度も県内外から多くの先生方が向陽の視察に来られています。自校の取組の参考にするために向陽の授業等を視察されるので、向陽の取組が全国的にも進んでおり、「モデル校」的な意味合いをもっていると言っていると思います。

少し話は逸れますが、私(教頭)が高校生だった約35年前の授業は、いわゆる「チョーク&トーク」と言われ、先生が黒板にチョークで板書をしながら説明をし、生徒はノートに写しながら先生の説明を聞くといった形が殆どでした。もちろん、今のようなタブレットやスクリーン・プロジェクターなどはありません。人口が増加の一途をたどり、効率よく大量に物を生産することが主流であったその時代には、『効率』が重視され教師主導の一斉型授業は合っていたのかもしれませんが、しかし、10年、20年先がどんな社会になっているのかは、誰も予測することは難しいでしょう。そんな時代に生きる皆さんには、社会事象や自然現象に疑問や課題をもち、その課題を解決するために仲間と協働して、最も適した答え“最適解”を導き出す力が必要になってきます。その最適解を導き出すための、例えば、仲間と協働するためのコミュニケーション力や、疑問、課題に対して仮説を立て、検証・考察する力、また、社会事象や自然現象を多面的に捉える力などが必要になってきますので、それらの力を身に付けるために、向陽では探究型授業や教科等横断型授業に積極的に取り組んでいます。様々な形態の授業に主体的に取り組む、将来に役立つ“力”を身に付けてください。



明日から夏休み ～ 33日間で何をするか？ 何ができるか？ ～

明日から8月21日(水)まで、33日間の夏休みが始まります。1学期の学校生活を振り返り、例えば、自分の課題克服に取り組む、或いは、自分の得意なことをより伸ばすことに取り組むなど、取り組み方は人それぞれです。それが、学習面なのか、部活動なのか、それともボランティア活動などの他の活動なのか人もそれぞれです。

しかし、何に取り組むにしても、まずは、きちんと計画を立て、そして、しっかりと体調を整えてから取り組んでください。また、夏休み期間中は、博物館や美術館等で様々なイベントが開催されています。以前、校長先生が「本物に触れる」という話をしてくださいました。少し時間を作って本物に触れてみて、自分の感性を磨くのもいいと思います。もしかしたら、その経験が新しい自分を発見できるよい機会になるかもしれません。